



九頭竜川流域の交流・連携による 地域づくりシンポジウム

山・里・海のつながりから未来を考えよう



九頭竜川は、古来より貴重な資源かつ命の源であり、治水・利水事業等を通じて流域の人々の暮らしや産業と密接に関わってきました。また、九頭竜川とその流域は人・もの・情報の交流を支えるとともに、流域の環境や生態系に大きな影響を与えています。一方で流域では、上・中・下流域により特性や課題は異なっており、各地域における地域力の向上と、流域を一体的に捉えた総合的なまちづくり方策等が求められています。

そこで福井県立大学地域経済研究所では、様々な分野から九頭竜川流域の活性化方策を提言することを目的とした研究をスタートしました。そのキックオフとして、九頭竜川が持つ多様な側面や機能を再認識し、今後の九頭竜川流域の地域づくりをともに考えるシンポジウムを開催しますので、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

基調講演

13:15~14:30

「九頭竜川における サクラマスの自然再生産のために ～山・里・海のつながりを考える～」

天谷 菜海 氏 (サクラマス・レストレーション/事務局)

1960年福井市生まれ、永平寺町在住。15年間にわたり、九頭竜川で稚魚放流などの活動を続けたグループ「サクラマス・アンリミテッド」を発展的解散へと導き、「サクラマス・レストレーション」として再スタートさせた。現在は、全国から九頭竜川に足を運ぶフライ・フィッシャー達が主力となり、サクラマス自然再生産のために、産卵場の造成や魚道改修のサポート&モニタリング、子ども達の環境学習などを行っている。自身は釣りをしないが、行政、地域住民、漁協、釣り人を繋ぐパイプ役的な存在であり、フォーラム出演や講演、執筆も多数。



パネルディスカッション

14:40~16:15

「九頭竜川流域の交流・連携による地域づくり ～山・里・海のつながりから未来を考えよう～」

■パネリスト

橋本 浩 ((財)福井観光コンベンション協会/常務理事)

昭和50年4月福井商工会議所に入所、中小企業の経営指導や会員サービス課長を務め、平成14年(社)福井市観光協会事務局長、平成18年より(財)福井観光コンベンション協会にて従事。

清水 正一 (特定非営利活動法人 美山まちづくりNPO/理事長)

福井市との合併を控えた平成17年に、行政と連携して美山地区を活性化するため、有志とともに美山まちづくりNPOを立ち上げる。様々な事業・イベントを通じて、住民のアイデアとパワーを結集し、美山の地域力の向上を目指す。

田原 大輔 (福井県立大学海洋生物資源学部海洋生物資源学科/講師)

トロント大学客員教授を経て平成21年4月より現職。カマキリ(アラルゴ)産卵・生育環境保全調査に関するアラルゴ検討会委員(国土交通省)を務めるなど、福井県のアラルゴに関する研究の第一人者。

■コーディネーター

北條 蓮英 (福井県立大学地域経済研究所/所長)

1943年生まれ。99年開設の福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科教授に着任。2010年同大学地域経済研究所長就任。専門は居住福祉論・まちづくり論。永平寺町景観協議会長として景観計画を策定、現在条例制定協議に尽力中。

九頭竜川流域創生研究の進め方

16:15~16:30

日時 平成22年 **11**月**26**日 **金**

開会▶13:00 閉会▶16:30

会場 **福井県立大学**

交流センター3階 多目的ホール

お問合せ **福井県立大学地域経済研究所事務局**

〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1-1
TEL 0776-61-6000 内線 6202 FAX 0776-61-6017

お申込み 下記にご記入の上、FAXいただくか、上記あてに郵送してください。

共 催 福井商工会議所

お申込み書

福井県立大学
地域経済研究所 へて
FAX 0776-61-6017

ご住所 〒

お名前

お電話 () -